

ヒラギシスゲ

Carex augustinowiczii Meinsh.

カヤツリゲサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が白山の一部に限られた環境にあり、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

ナルコスゲに似るがより大型になり、高さ30~60cm。雌鱗片は黒紫色を帯び、果胞は淡緑色で嘴は短い。

国内分布

北海道、本州(中部以北)。

県内分布

白山高地区。

生態など

向陽地の主に流水縁の砂礫地や岩上に生え、密に叢生する多年草。花期は6~7月。

生育環境

亜高山帯の溪畔や湿地。

危険要因

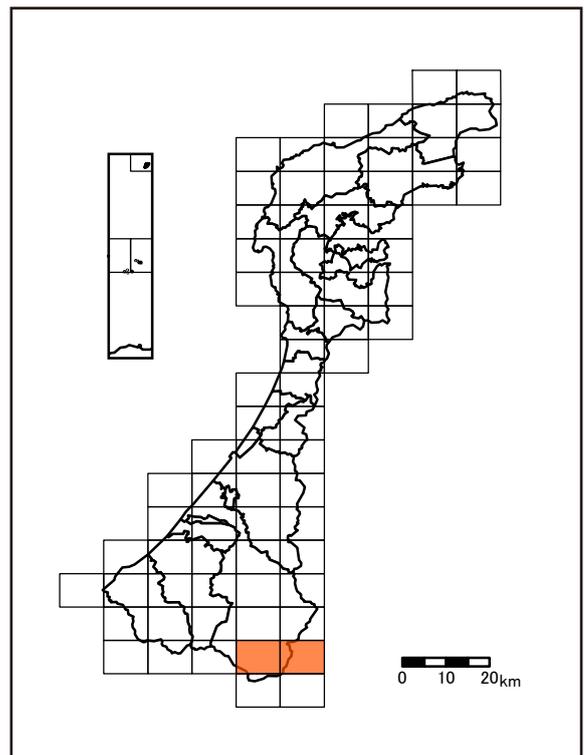
産地局限。生育地の多くは土石流などの影響を受けやすい不安定な立地にあり、また砂防工事など人為的影響を受ける可能性がある。

特記事項

生育地のほとんどは白山国立公園特別保護地区内にある。



白井伸和・2006年8月8日・白山



県内の分布